

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 萩原電気株式会社

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	41,926	△6.2	1,132	10.4	1,111	12.3	625	16.5
25年3月期第2四半期	44,704	33.1	1,026	80.5	989	80.1	537	81.3

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 797百万円 (62.2%) 25年3月期第2四半期 491百万円 (92.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	93.42	—
25年3月期第2四半期	80.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
26年3月期第2四半期	40,681	—	18,948	—	46.6	2,829.91
25年3月期	40,455	—	18,311	—	45.3	2,734.83

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 18,948百万円 25年3月期 18,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	19.00	—	24.00	43.00
26年3月期	—	22.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	0.9	2,150	3.7	2,090	1.7	1,180	3.4	176.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,908,000 株	25年3月期	6,908,000 株
26年3月期2Q	212,321 株	25年3月期	212,296 株
26年3月期2Q	6,695,683 株	25年3月期2Q	6,695,716 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3f 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年12月4日(水).....機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策・円安等を追い風に、企業の景況感や個人消費マインドが改善する中、緩やかな回復の動きが続き、本格的な景気回復に向けての期待感が高まる一方、新興国をはじめとする海外景気の下振れ懸念等のリスクを抱えつつ推移してまいりました。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、北米や新興国向けの海外販売需要が伸張し、自動車生産は堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、売上高はほぼ当初見込み通りに推移しましたが、前年同四半期比においては、お客様のBCP対策在庫向けの売上等の一時的な変動要素の影響もあったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は419億26百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。しかしながら利益面では、平成23年1月に実施した商流移管に伴う対価の一部として発生していた補償金の支払が終了したこともあり、営業利益は11億32百万円（前年同四半期比10.4%増）、経常利益は11億11百万円（前年同四半期比12.3%増）、四半期純利益は6億25百万円（前年同四半期比16.5%増）と減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサ、システムLSI、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムLSI設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ハイブリッド車を中心に国内需要が底堅く推移したほか、好調な米国向けをはじめとする海外需要に支えられ、自動車の生産が堅調に推移したものの、前述の前年上半期での変動要素分をカバーするまでにはいたらず、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は357億32百万円（前年同四半期比7.9%減）となり、営業利益においては補償金が無くなったことともあり15億2百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたIT機器の提供やアプリケーション開発をはじめとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、円安を背景とする企業の収益改善や景況感の改善に伴う設備投資・情報化投資需要の持ち直しの動きに合わせ、積極的な新規顧客の開拓やFA・計測分野、ITプラットフォーム基盤構築分野でのソリューション提案営業を展開した結果、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は61億93百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は2億13百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億26百万円増加し406億81百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4億3百万円増加し360億35百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億73百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が3億50百万円および商品及び製品が3億64百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億76百万円減少し46億45百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億10百万円減少し217億33百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12億83百万円減少し166億73百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億83百万円、短期借入金が3億40百万円および1年内返済予定の長期借入金が3億円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8億73百万円増加し50億59百万円となりました。これは主に長期借入金が8億90百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億36百万円増加し189億48百万円となりました。

この結果、自己資本比率は46.6%（前連結会計年度末は45.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(在外子会社の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更による前第2四半期連結累計期間の損益への影響額および当第2四半期連結累計期間の期首までの累積的影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,119	3,845
受取手形及び売掛金	22,676	23,026
商品及び製品	7,821	8,185
仕掛品	233	264
原材料及び貯蔵品	127	139
その他	655	576
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	35,632	36,035
固定資産		
有形固定資産	2,753	2,752
無形固定資産	384	281
投資その他の資産		
その他	1,695	1,627
貸倒引当金	△11	△16
投資その他の資産合計	1,684	1,611
固定資産合計	4,822	4,645
資産合計	40,455	40,681
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,612	10,228
短期借入金	5,020	4,680
1年内返済予定の長期借入金	719	419
未払法人税等	517	459
その他	1,087	885
流動負債合計	17,957	16,673
固定負債		
長期借入金	3,380	4,270
退職給付引当金	344	319
役員退職慰労引当金	359	—
その他	101	470
固定負債合計	4,186	5,059
負債合計	22,143	21,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	13,146	13,611
自己株式	△209	△209
株主資本合計	18,260	18,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	121
為替換算調整勘定	△38	101
その他の包括利益累計額合計	50	222
純資産合計	18,311	18,948
負債純資産合計	40,455	40,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	44,704	41,926
売上原価	40,696	37,782
売上総利益	4,008	4,143
販売費及び一般管理費	2,981	3,010
営業利益	1,026	1,132
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	5
業務受託手数料	5	23
その他	28	5
営業外収益合計	40	36
営業外費用		
支払利息	28	27
為替差損	23	14
売上債権売却損	22	15
その他	2	1
営業外費用合計	76	58
経常利益	989	1,111
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	4	0
投資有価証券評価損	4	—
会員権評価損	2	—
特別損失合計	11	0
税金等調整前四半期純利益	978	1,111
法人税等	441	485
少数株主損益調整前四半期純利益	537	625
四半期純利益	537	625

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	537	625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	32
為替換算調整勘定	10	139
その他の包括利益合計	△45	171
四半期包括利益	491	797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	797
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	978	1,111
減価償却費	175	185
固定資産除売却損益(△は益)	4	0
会員権評価損	2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	6
受注損失引当金の増減額(△は減少)	0	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21	△359
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14	△25
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	28	27
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,461	△350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,283	△407
仕入債務の増減額(△は減少)	△545	△383
その他	△297	219
小計	528	15
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	△28	△28
法人税等の支払額	△421	△508
営業活動によるキャッシュ・フロー	85	△513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△23	△3
投資有価証券の売却による収入	20	96
有形固定資産の取得による支出	△229	△46
無形固定資産の取得による支出	△33	△19
その他	△4	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269	21
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	270	△340
長期借入れによる収入	1,100	1,100
長期借入金の返済による支出	△364	△509
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△133	△159
その他	△11	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	859	79
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	685	△273
現金及び現金同等物の期首残高	3,268	4,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,953	3,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	デバイスビジ ネスユニット 事業	ソリューション ビジネスユ ニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,798	5,906	44,704	—	44,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	44	5	50	△50	—
計	38,842	5,912	44,754	△50	44,704
セグメント利益	1,405	192	1,598	△572	1,026

(注) 1 セグメント利益の調整額△572百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	デバイスビジ ネスユニット 事業	ソリューション ビジネスユ ニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,732	6,193	41,926	—	41,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	57	—	57	△57	—
計	35,790	6,193	41,983	△57	41,926
セグメント利益	1,502	213	1,715	△582	1,132

(注) 1 セグメント利益の調整額△582百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。